

トヨタ純正 GR 強化メタルクラッチ & クラッチカバーセット 取付要領書

このたびはトヨタ純正 GR 強化メタルクラッチ & クラッチカバーセットをお買い上げいただきありがとうございます。
本書は GR 強化メタルクラッチ & クラッチカバーセットの取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
本書を必ずお客様にお渡しください。

品 番

31001 - 52020

構成部品

| No. | 品 名 | 品 番 | 個数 |
|-----|--------------------------------|-------------|----|
| 1 | クラッチカバー | 31210-52220 | 1 |
| 2 | クラッチディスク | 31250-52290 | 1 |
| 3 | カバー取付ボルト/ ワッシャセット (M8×20mm) | — | 6 |
| 4 | クラッチグリス | — | 1 |
| 5 | 取付要領書 | — | 1 |

※クラッチ脱着の際、レリーズシリンダー ASSY 及びボルトの交換が必要です。
レリーズシリンダー ASSY、ボルトセット (31400-59035) をご準備願います。

| レリーズシリンダー ASSY、ボルトセット (31400-59035) | | | |
|--|----------------|-------------|----|
| No. | 品 名 | 品 番 | 個数 |
| 1 | レリーズシリンダー ASSY | 31400-52040 | 1 |
| 2 | ボルト | 90119-08C91 | 3 |

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- ⚠ 警告 … 警告事項を守らないと生命の危険、または重大な傷害につながる恐れがあることを記載しています
- ⚠ 注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を破損する等の恐れがあることを記載しています
- 🔊 アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

⚠ 警告

- ・ パーツリスト以外の部品を使用した為に発生した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切責任を負いません。指示の無い部品は、必ず純正部品をご使用ください。
- ・ 製品の改造、加工は絶対に行わないでください。このことにより発生した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切の責任を負いません。また、自動車が使用できなかった事による不便さ、及び損失（電話代、タクシー代、レッカー代、宿泊代、給料補償、商機逸失の補償）についても一切の責任を負いません。
- ・ GR 強化メタルクラッチ&クラッチカバーセットは、指定された車種以外には取り付けないでください。
- ・ 取り付けを行う前に、必ず本書をよく読んでから作業に入ってください。
- ・ 電気ショートによるトラブルを避けるため、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてから作業を始めてください。
- ・ 取付け後の点検は、必ず行ってください。

⚠ 注意

- ・ 製品及び関連部品の取り付けは、トランスミッションの脱着作業に伴い、専門の知識、加工技術特殊工具が必要です。取り付けに際しては、必ず認証・指定工場で行ってください。
- ・ 適合車種以外の車両への取り付けは、絶対に行わないでください。
- ・ 製品取り付け後の車両は、走行性能が変わります。特に、発進時は十分に注意してください。車両の動きに慣れるまでは、急激な操作を避けてください。
- ・ 作業の為、一時的にはずす部品は充分注意して保管してください。特に汚れを嫌う部品及び箇所については、ゴミ、ホコリ等に注意してください。
- ・ 配線用カプラー、コネクタは破損・断線に注意して取りはずし、保管してください。
- ・ 一時的にはずす部品は、間違っ取付け不要ようマーキングをしておいてください。
- ・ ガレージジャッキ、リジトラック、リフト等は所定の場所に確実に掛けてください。

取り付けに必要な工具等

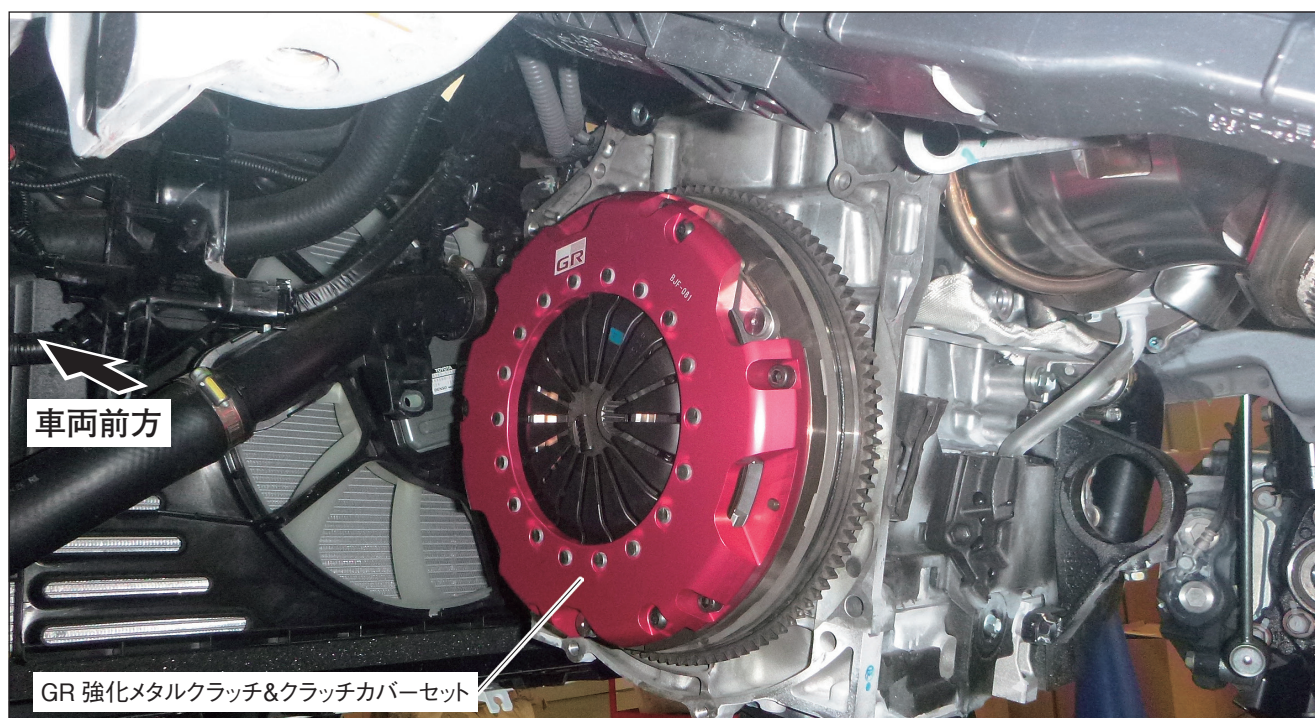
一般工具、その他必要な工具は修理書を参照してください。

始業点検

エンジンが正常に作動することを確認してください。

ドアロック・パワーウインド・ハザード等、電気系統の作動確認を実施してください。

取付概要



車両部品の取りはずし要領

修理書を参照し、トランスミッションを取りはずす。

△ 注意

- ・クラッチリリースパーツ（リリースシリンダー、クラッチホース等）が全て純正品であることを確認してください。当社の製品は、純正車両で取り付け等の寸法と作動確認を行っております。純正でない部品を使用している場合、切れ不良、滑りの症状の原因となることがありますのでご注意願います。
- ・メインドライブシャフトのスプライン部に、肉痩せ、ねじれその他の損傷は無いかチェックしてください。摩耗がひどい場合には、新品と交換してください。

取付要領

クラッチ取り付けの前に

△ 警告

- ・梱包から取り出す際には、製品が重いので注意して取り扱ってください。落としたり、強いショックを与えますと、取り付け不良や故障の原因となります。

△ 注意

- ・クラッチカバーは、出荷検査で一度、本締めしてあるため、クラッチカバー取付ボルトの座面に締め付け痕が残っていますが、使用上は問題ありません。
- ・各々のパーツに汚れが無いことを確認してください。摩擦面は脱脂剤を使用して拭いてください。
- ・メインドライブシャフトのスプラインをあらかじめワイヤブラシ等を使用して清掃し、そのスプライン部にねじれ、打痕、その他損傷はないかチェックしてください。異常がある場合には、新品に交換してください。
- ・クラッチディスクのスプライン部に傷、打痕の無いことを確認してください。次に、清掃したメインドライブシャフトに挿入しスムーズに摺動することを確認してください。スムーズに摺動しない場合、切れ不良、繋がり位置変化等の原因となります。

<メインドライブシャフトへのグリスの塗布>

メインドライブシャフトのスプライン部全周に、付属のクラッチグリスを少量塗布し、その後指でグリスを拭き取り、グリスがスプラインの溝部に残る程度としてください。また、グリス塗布後に数回クラッチディスクをメインドライブシャフトのスプライン部に通した後、はみ出したグリスをきれいに拭き取ってください。グリス量が多すぎると、クラッチディスクの摩擦面に遠心力でグリスが飛び散り、滑りや焼き付きの原因となることがありますので充分ご注意ください。

クラッチディスク、クラッチカバーの交換

修理書を参照し、クラッチディスク、クラッチカバーを交換する。

カバーボルト締め付けトルク：29.4N・m

⚠ 警告

- ・クラッチディスクのセンター出しは、必ず専用のセンター出し工具を使用して行い、クラッチカバーを取り付けてください。
- ・1度に締め付けず、6箇所を対角上に、数回に分けて締め付けてください。また、締め付けのたびに専用のセンター出し工具がパイロット部からスムーズに抜けることを確認してください。
- ・スムーズに抜けない場合には、全部のボルトを緩め、もう一度センター出しをやり直してください。クラッチディスクのセンターが出ていないと、トランスミッションの組み付けが困難であったり、クラッチディスクを变形させてしまいトラブルの原因となります。

⚠ 注意

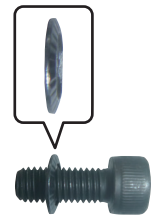
- ・クラッチディスクの組み付けは【カバー側】と不滅インキで印字されている面を必ずクラッチカバー側に向けてセットしてください。

<クラッチカバーボルトの締め付けについて>

緩み止めをネジ部に塗布してください。(推奨緩み止め材：LOCKTITE 242)
トルクレンチは校正されたものをレンチの取扱説明書に従って使用してください。

- ・ワッシャーの向きに注意してください。ワッシャーの凸部がボルトの頭側になります。

- ・レリーズシリンダーは、純正品を使用してください。また、クラッチ交換時及びクラッチオーバーホール時は、新品に交換してください。(再使用不可部品)



トランスミッションの取り付け

修理書を参照し、トランスミッションを取り付ける。

⚠ 警告

- ・修理書に基づいて、トランスミッションを取り付けてください。
- ・メインドライブシャフトの先端でディスクを胴突きしないようにしてください。ディスクの変形や歯面の傷の原因となります。メインドライブシャフトとディスク・スプラインの歯面を平行にして、フライホイールを回しながら歯を合わせ、スムーズに挿入するようにしてください。

⚠ 注意

- ・レリーズシリンダーやその他ハウジング部品の汚れを取り、損傷等の無いことを確認してください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。※車両システムの初期化には、GTS等のツールが必要な場合があります。

取り付け完了後の確認

取り付けの確認

1. 取り付けに異常がないことを確認してください。
2. 取り付けの際、車両に傷が付いていないことを確認してください。
3. クラッチ、トランスミッションが正常に作動することを確認してください。

ユーザー様へ

使用上のご注意

⚠ 警告

- ・製品の改造、加工は絶対に行わないでください。このことにより発生した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切の責任を負いません。また、自動車が使用できなかった事による不便さ、及び損失（電話代、タクシー代、レッカー代、宿泊代、給料補償、商機逸失の補償）についても一切の責任を負いません。
- ・クラッチのオーバーホール時は、レリーズシリンダーを必ず交換してください。また、ディスクとプレッシャープレートの平行度や摩耗度を調べ、曲がりのあるもの・極端に擦り減っているもの（目安として1mm程度擦り減っているもの）は必ず交換してください。その他、カバー ASSY 部のダイヤフラムスプリングの劣化や損傷がある場合には、同時にカバー ASSY も交換してください。これらを怠りますと不具合が生じたり、本来の効果が得られないことがあります。
- ・高回転での半クラッチを長く使用しないでください。クラッチの寿命が極端に短くなります。

⚠ 注意

- ・クラッチ取り付け後は、必ず慣らし運転（市街地走行で500km程度）を行ってください。摩擦面が全面当たりしないうちに急激な操作を行うと部分的な焼き付きを生じ、ジャダーの発生や寿命の低下につながりますのでご注意ください。
- ・製品取り付け後の車両は、走行性能が変わります。特に、発進時は十分に注意してください。車両の動きに慣れるまでは、急激な操作を避けてください。
- ・クラッチ取り付け当初と慣らし運転後では、発進時のクラッチの繋がり方に変化がありますが、メタルフェーシングの性質上の問題と、各摩擦面が全面当たりしている為で異常ではありません。また、発進時のクラッチの繋がりによっては、ジャダーや摩擦材の鳴き音が出る場合がありますが異常ではありません。
- ・クラッチの性質上、新品装着直後と慣らし後ではペダル位置が若干変化し、半クラッチ操作性に変化がありますが特に異常ではありません。
- ・半クラッチを多用すると、クラッチ内部が高温になり、構成部品の熱膨張、変形等で一時的に切れが悪化する場合があります。この場合、一旦走行を中止し、一度冷やしてから運転を再開してください。
- ・強化クラッチは、一般的にノーマルクラッチに対しセット重量が軽量化されており、この為ミッションから共振音が発生する場合があります。粘度の高いミッションオイルを使用することで、その共振音を緩和することはできますが機械的な問題の為、完全に消音することはできませんのでご了承ください。
- ・走行中に不具合（振動・異臭・異音・切れ不良）が発生した時は、直ちに走行を中止し、専門業者で点検を受けてください。異常が発生したまま運転を継続しないでください。
- ・本製品は競技用特殊部品につき、クレーム返品には応じかねます。また、仕様・価格、その他の変更は予告なく行うことがあります。
- ・本製品は競技用特殊部品です。純正品に比べ発進時のクラッチ操作が難しくなりますので十分な慣れが必要です。この点を予め承知の上でご使用をお願い致します。

===== MEMO =====

